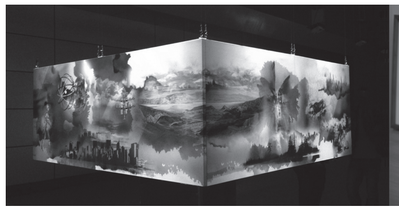


Double Sense

Uroboros Torch + Moments of Bloom
赤松正行＋北村穣＋展





「ウロボロスのトーチ」では 8 枚の連作絵画として古代から未来へと続く事象が描かれます。これらは人の営為による文明の歴史であり、同時に連綿と続く自然や人為を超える無為の力が暗示され、循環する永遠の流れへと至ります。ウロボロスは自らの尾を噛む円環状の蛇または竜であり、暗闇でトーチ（篝火）をかざすようにして、その物語を紡ぎ出すことになります。

「モーメンツ・オブ・ブルーム」は長期間の微速度撮影による映像を編集して時間を凝縮し、普段は知覚できない情景を作り出します。30点におよぶ絵画に描かれた植物の時間には、思いがけない動きが現れ、花それぞれの生命力や個性を見ることができます。かざすことにより咲きはじめる花々に、美しさや切なさエロティシズムなど様々な感情が現れては消えていきます。

このように「Double Sense」とは 2 つの作品を示すとともに、現実と幻影が織りなす不思議な多重感覚を表します。これはAR（拡張現実・変容現実）と呼ばれるテクノロジーのアートへの侵入であり、アートからテクノロジーへの呼応に他なりません。ここでは真偽を問うことは意味を成しません。見るもの、聞くもの、感じるもの、すべてがあなたが得るものとして存在します。

赤松正行（あかまつまさゆき）

メディア作家、博士（美術）、IAMAS 教授。10 代よりエレクトロニクスを用いた音楽制作を始め、1980 年代からコンピュータを使用、音楽だけでなく映像やネットワークなど様々なメディアへと制作範囲を広げる。近年はモバイル・デバイスによる表現研究や、人と社会への影響の考察に取り組む。開発した iOS アプリは 40 個以上、App Store でのダウンロード数は 1,600 万回を超える他、展覧会やパフォーマンスなどへと展開している。代表作に Banner、セカイカメラ、Okeanos Buoys、iOS の教科書など。

http://akamatsu.org/

北村穣（きたむらゆたか）

アートディレクター、UI/UXデザイナー。20 代より Mac を使ったデザインを始め外資系デザイン事務所ではTAG HEUERやCHANELなどのプロモーション、ディスプレイを手掛ける。90 年代後半からはフリーランスで活動、グラフィックからWEBサイトや映像へと制作範囲を広げ、2000 年代は Sony Ericsson のメニューや画面デザインを手掛ける。2010 年和田純平と共に soneru を設立。代表作は LiveCycling、LiveTraining、セカイカメラ、at:time、Bloomclock など。

http://www.soneru.com/

http://dribbble.com/rudesign

制作協力：

和田純平、白鳥啓、間チルダ、アマナイメージズ、IAMAS、明石瀬里奈神谷典孝、堂園翔矢、中上淳二、二宮諒、宮城良、佐藤薫（EP-4）

詳細情報

Uroboros Torch：

http://akamatsu.org/aka/works/uroboros/

Bloomclock：

http://bloomclock.tumblr.com/

ARART：

http://arart.info/

Double Sense - Uroboros Torch + Moments of Bloom

赤松正行＋北村穣＋展

会期：2013 年 5 月 5 日（日）～ 31 日（金）

時間：13 時～18 時 30 分（休館日：水・木） 入館無料

MSSOHKAN 夢創館

〒657-0805　神戸市灘区青谷町 2-1-3

TEL 078-802-8822 / FAX078-802-8881

http://www.mssohkan.com/

交通アクセス

阪急神戸線「王子公園」より徒歩 8 分

JR「灘」より徒歩 12 分

市バス 2・18 系統「青谷橋」より南へ徒歩すぐ

